

個人投資家向け 会社説明会

2024年7月27日

佐鳥電機株式会社（証券コード：7420）

代表取締役 社長執行役員

佐鳥 浩之

1. 会社概要
2. 2024年5月期実績 2025年5月期予想 業績ハイライト
3. 中期経営計画2026

1. 会社概要



商 号 佐鳥電機株式会社 (SATORI ELECTRIC CO.,LTD.)

本 社 東京都港区芝一丁目14番10号

設 立 1947年7月 77周年

代 表 者 代表取締役 社長執行役員 佐鳥浩之

資 本 金 26億円

上 場 市 場 東証 プライム市場

証 券 コ ー ド 7420





売上高

(2024年5月期実績)

1,481億円
前年度比1.2%増



営業利益

(2024年5月期実績)

47億円
前年度比25.4%増



総資産

(2024年5月末時点)

834億円



国内外拠点数

(2024年5月末時点)

10か国
22拠点



従業員数

(2024年5月末時点)

793名



取引先数

約5,000社

佐鳥電機株式会社

- ① 東京本社
- ② 大阪支社
- ③ 札幌支店
- ④ 仙台支店
- ⑤ 名古屋支店
- ⑥ 九州支店
- ⑦ 広島営業所
- ⑧ 熊本営業所
- ⑨ 東京物流センター
- ⑩ 秋田テクノロジーセンター
- ⑪ 菊名別館

佐鳥パインックス株式会社

- ① 東京本社
- ④ 仙台営業所
- ② 西日本営業所

株式会社スター・エレクトロニクス

- ① 東京本社
- ⑤ 名古屋支店

佐鳥S Pテクノロジー株式会社

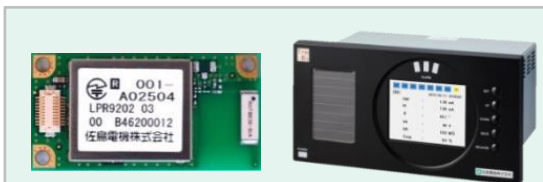
- ① 東京本社
- ⑨ テクニカルセンター





- ① 台湾佐鳥
- ② 香港佐鳥
- ③ 佐鳥貿易（上海）
- ④ 佐鳥貿易（深圳）
- ⑤ 韓国佐鳥
- ⑥ タイ佐鳥
- ⑦ SMエレクトロニクス
- ⑧ SMETシンガポール
- ⑨ 佐鳥E-テクノロジー
- ⑩ 佐鳥ドイツ
- ⑪ **MAGnetIC***

*MAGnetIC社はSystematIC社に社名変更予定



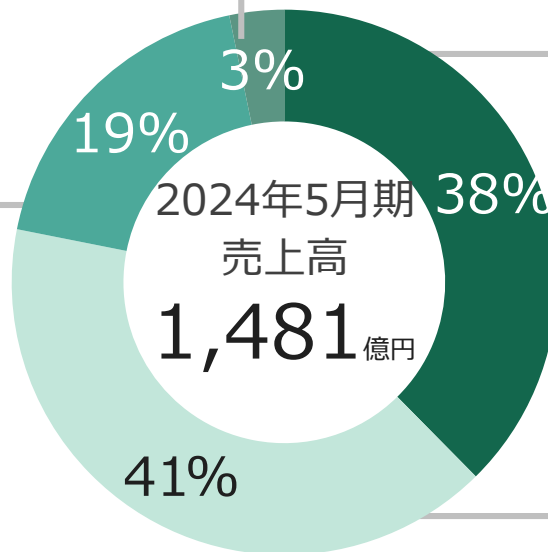
オリジナル製品

無線モジュール
無線ユニット
スイッチ製品
絶縁監視装置 Leakele



電子機器

半導体製造装置向け制御機器
ロボット
産業用コントローラ、ボード
SSD、ハードディスクドライブ



半導体

マイクロコンピュータ・メモリ
アナログIC
パワー半導体
調達サービス



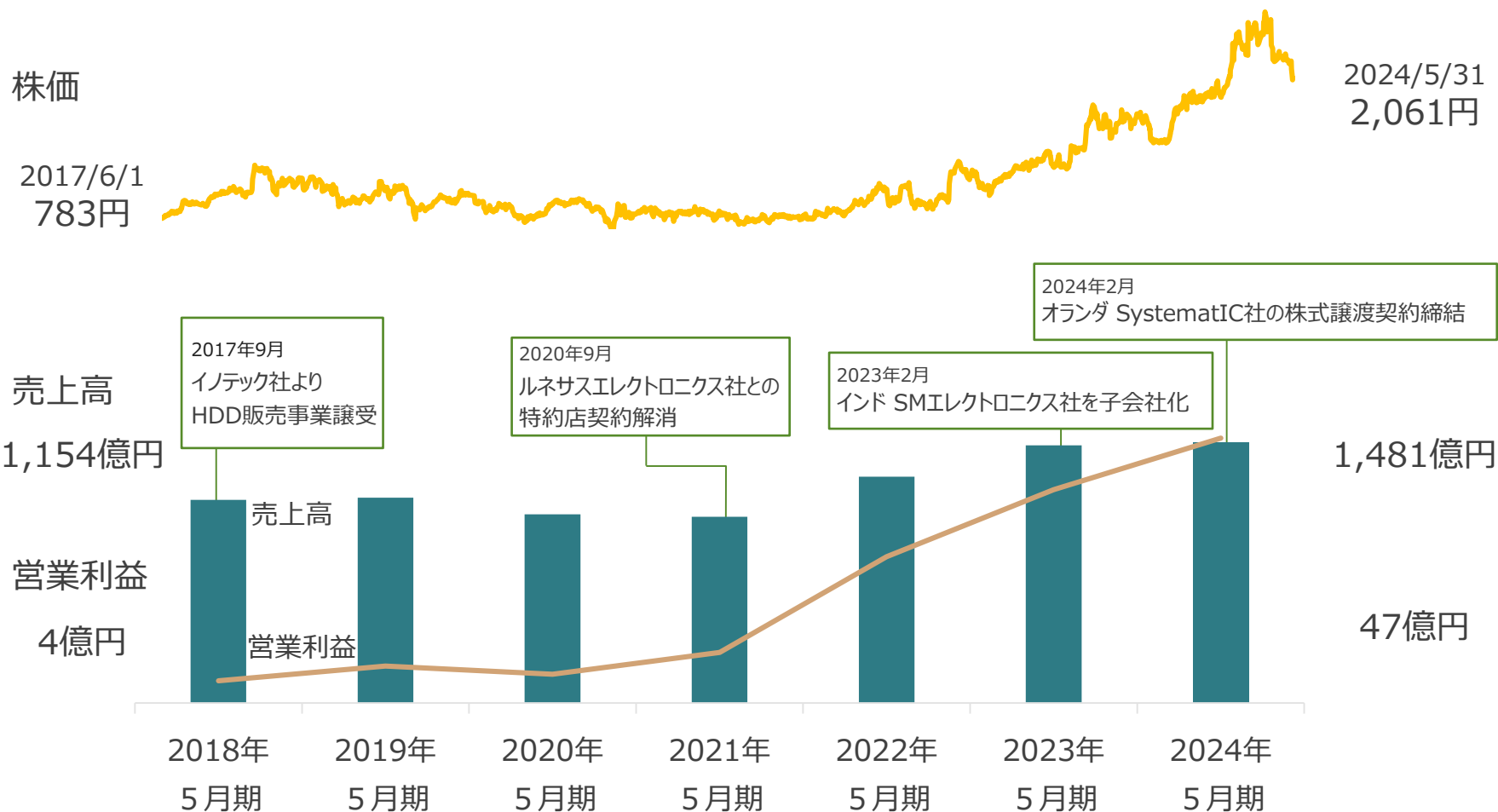
電子部品

キャパシタ
光ファイバ関連製品
電池

仕入先 約1,200社

- NEC
- トーキン
- 住友電工
- 安川電機
- CKD
- パナソニック
- 他

売上高推移



2. 2024年5月期実績 2025年5月期予想 業績ハイライト



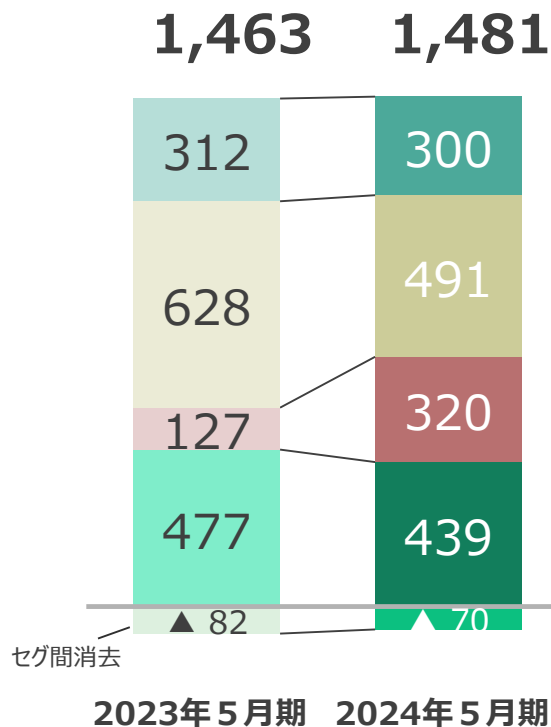
2024年5月期実績 2025年5月期予想 業績ハイライト

(単位：億円)	2023年5月期	2024年5月期	前年度比	2025年5月期	前年度比
	実績	実績		予想	
売上高	1,463	1,481	+1.2%	1,540	+4.0%
営業利益	37.9	47.5	+25.4%	43.0	▲9.6%
経常利益	28.6	36.5	+27.4%	35.0	▲4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	22.5	21.5	▲4.5%	25.0	+15.9%
月平均為替レート (US\$/¥)	136.4円	147.2円		140円	

- 前年度比で2025年5月期営業利益は減少する見込だが、為替影響を除いたベースでは前年度比で増加する見込

2024年5月期 セグメント別売上前年度比 増(減)要因

(単位：億円)



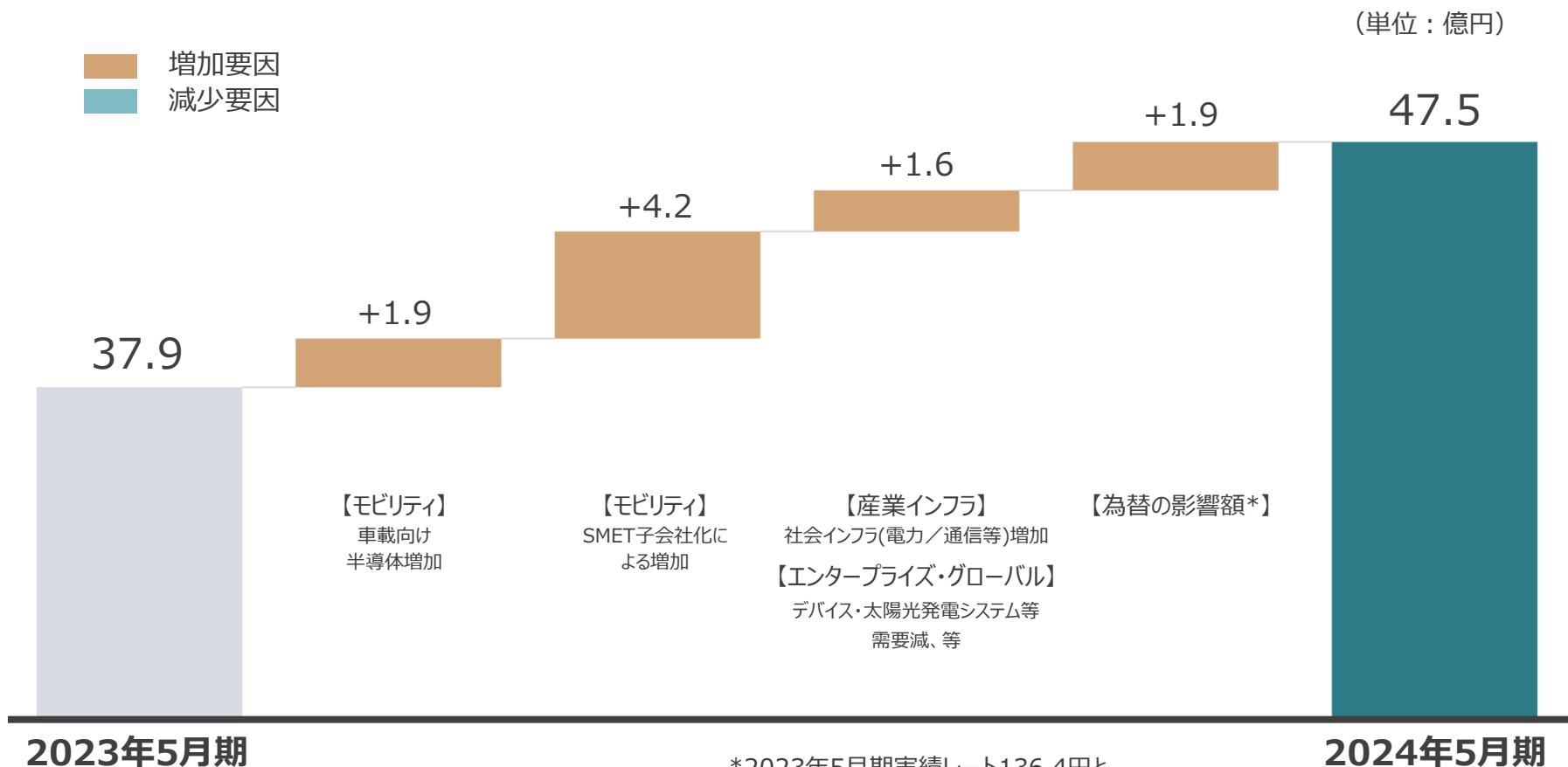
セグメント	増(減)額 増(減)率	主な増(減)要因
産業インフラ	▲12 ▲4%	[▲]工作機械向け制御機器の需要減
エンタープライズ	▲136 ▲22%	[▲]調達マネジメントサービスの売上減
モビリティ	+192 +151%	[+]SMET*子会社化による増加、 車載向け半導体の売上増
グローバル	▲37 ▲8%	[▲]PC/事務機器の生産調整に伴う 半導体・電子部品売上減

*SMETはSM ELECTRONIC TECHNOLOGIES PVT. LTD.の略称

2024年5月期 営業利益増(減)主要因

(単位：億円)

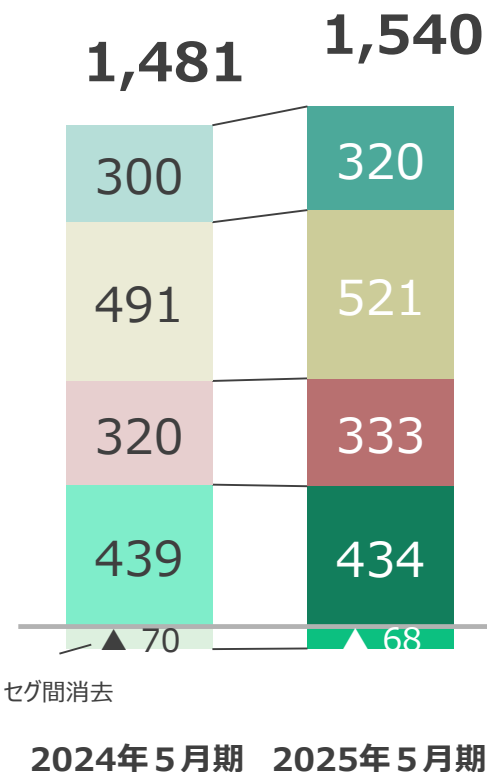
増加要因
減少要因



*2023年5月期実績レート136.4円と
2024年5月期実績レート147.2円との差異

2025年5月期 セグメント別売上前年度比 増(減)要因

(単位：億円)

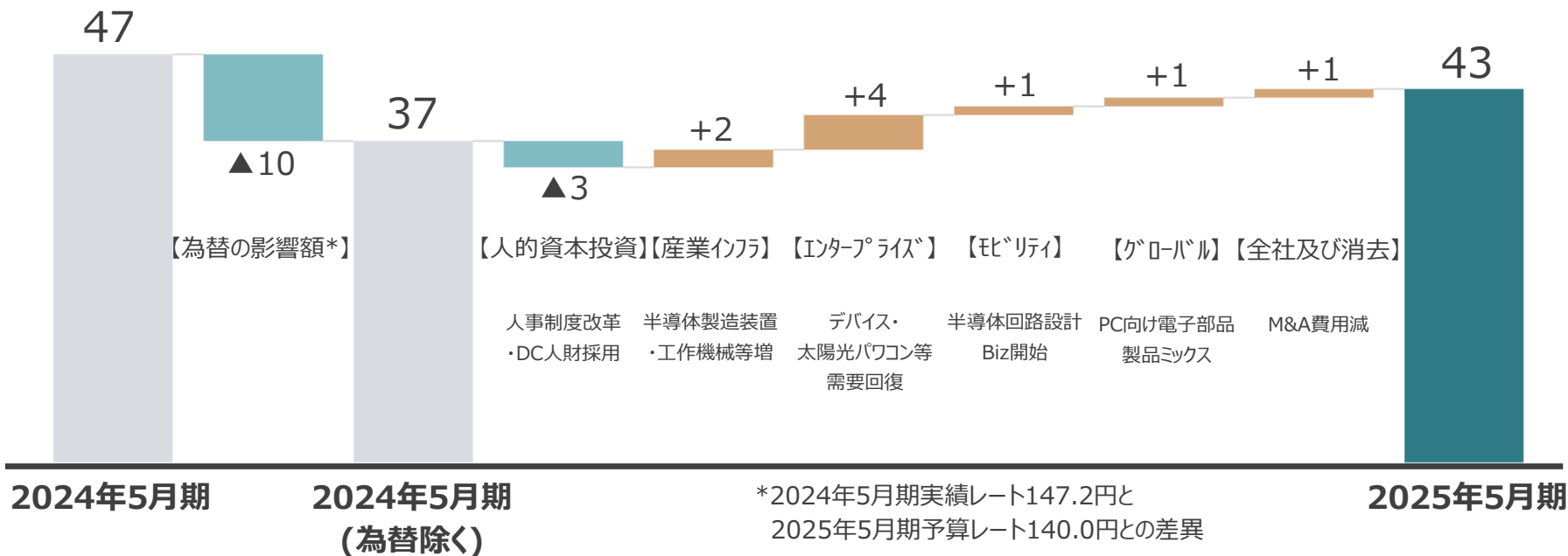


セグメント	増(減)額 増(減)率	主な増(減)要因
産業インフラ	+20 +7%	[+]半導体製造装置用機器の需要回復
エンタープライズ	+30 +6%	[+]デバイス・ストレージ等需要回復
モビリティ	+13 +4%	[+]インド市場向け車載用電子部品売上増、半導体設計ビジネス開始による増加
グローバル	▲5 ▲1%	[▲]PC需要停滞による電子部品の売上減

2025年5月期 営業利益増(減)主要因

(単位：億円)

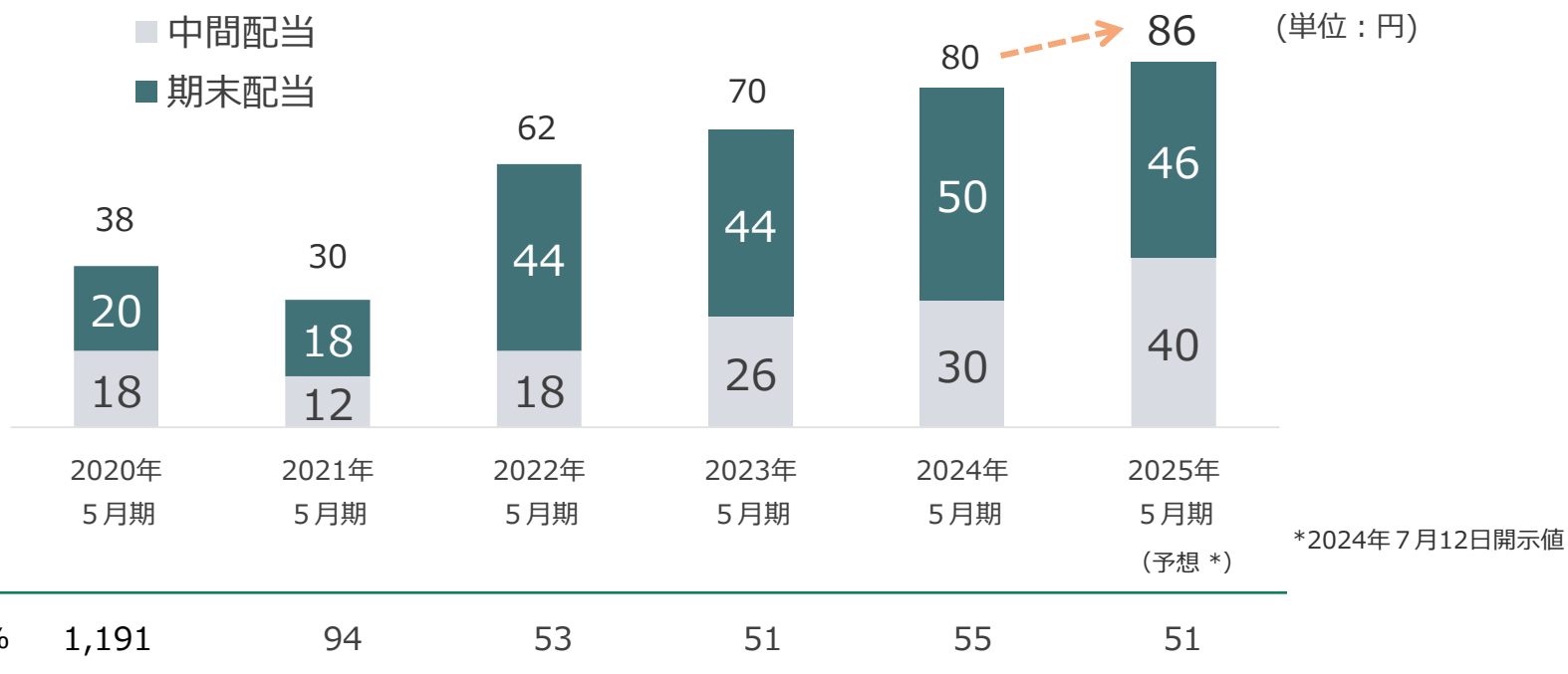
増加要因
減少要因



株主還元方針

中長期的な配当方針： 当社は、配当政策を経営上の重要課題と位置づけ、株主還元と内部留保とをバランス良く実施していくことを基本とし、経営状況の見通し等を総合的に勘案の上、**配当性向50%**を目処として業績に連動した配当を実施することを目標とする。

自己株式の取得方針： 投資機会、財務状況、株価水準などを総合的に勘案し、機動的に実施する。

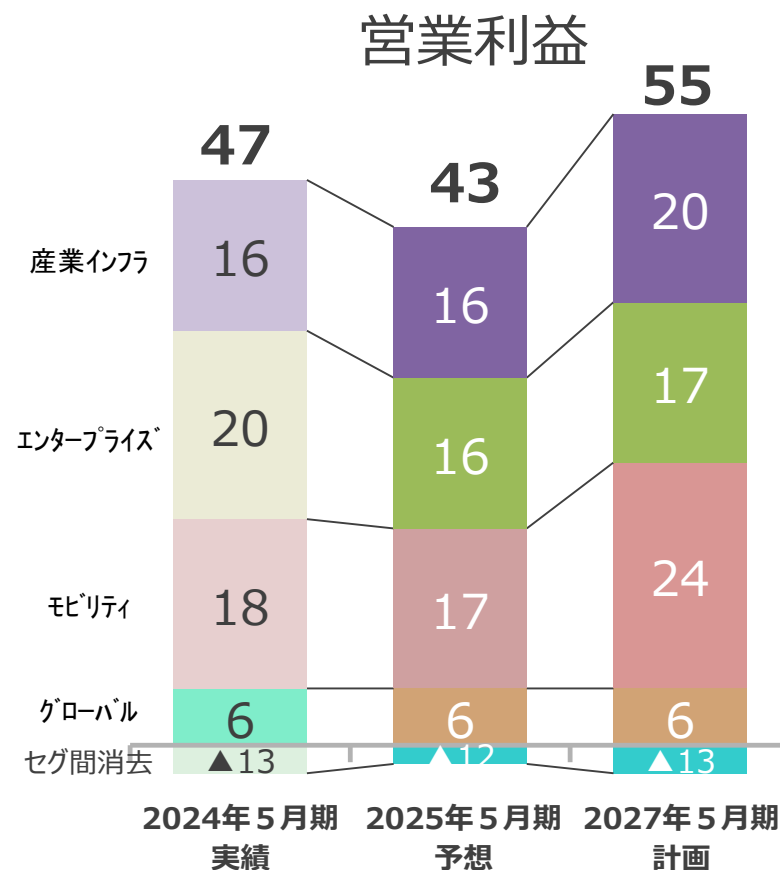
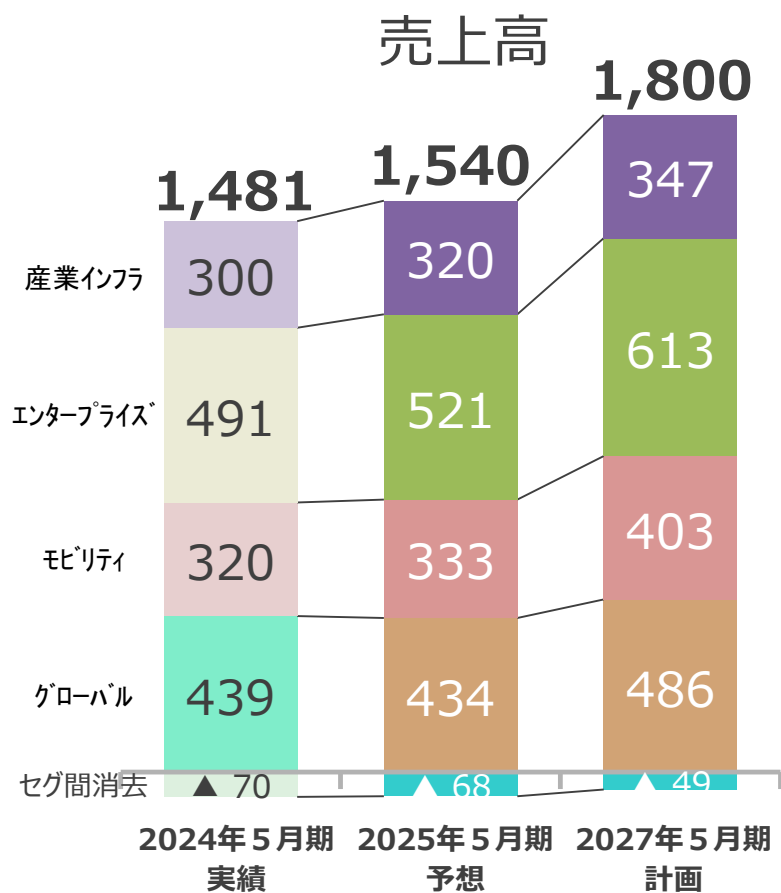


3. 中期経営計画2026



2025年5月期予想と中期経営計画2026

(単位：億円)



【再掲載】「株主資本コスト7%を上回るROE9%以上の実現により、PBR1.3倍以上の達成」を目指す

【2026年度目標】

$$\begin{array}{ccc} \text{ROE} & \times & \text{PER} & = & \text{PBR} \\ \text{自己資本利益率} & & \text{株価収益率} & & \text{株価純資産倍率} \\ \mathbf{9\%以上} & & \mathbf{14倍(前提)} & & \mathbf{1.3倍以上} \end{array}$$

ROE向上施策

1. 成長戦略の取り組み

- ・成長市場（産業インフラ、モビリティ、インド等）に集中
- ・M&A戦略の加速
- ・ROIC経営の推進

2. 財務施策

- ・在庫保有月数削減によるCCCの改善



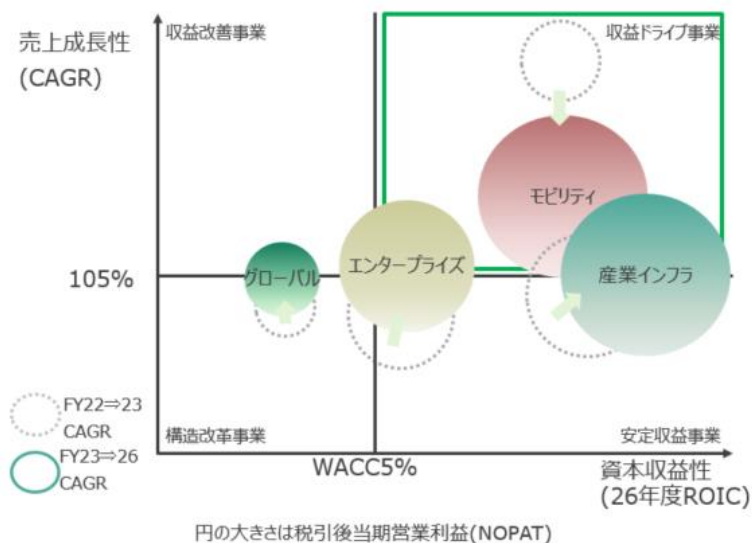
株主資本コスト*低減

3. 非財務施策

- ・人的資本経営の推進
デマンドクリエーション人財強化
エンゲージメント改善、等
- ・コーポレートガバナンス強化
スキルマトリックスの徹底、等

*CAPM（Capital Asset Pricing Model）ベースで算定

【再掲載】



【中期経営計画2026 事業ポートフォリオ戦略】

- 産業インフラ
 - ✓ ロボット活用による人員不足など社会的課題の解決
- モビリティ
 - ✓ C A S E を中心とした車載用半導体の拡大
 - ✓ S M E T によるインド市場開拓
 - ✓ SystematIC社とのシナジー創出
- エンタープライズ
 - ✓ “コト売りシフト”による付加価値アップ
 - ✓ D X 活用によるローコストオペレーションを実現
 - ✓ スイッチ事業の譲渡
- グローバル
 - ✓ ローカルビジネスの拡大

事業ポートフォリオの見直しの一環として、産業用スイッチの製造・販売メーカーとして強みを有するOTAX社へ株式譲渡



・資本収益性の向上

スイッチ事業



・製品ラインアップの拡充による
業界シェアアップ

Before

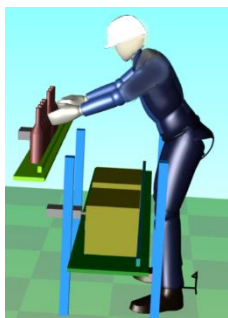
お客様課題

- 加速する人手不足
- 重労働な酒瓶搬送

箱詰工程



町田酒造株式会社
(鹿児島県奄美大島)



FAMS社自動化装置を導入
2025年1月稼働を予定

After

導入効果

- 自動化による省人化
- 運搬労働負荷軽減による安全性の確保
- 人と機械の最適配置提案による生産効率化

自動箱詰



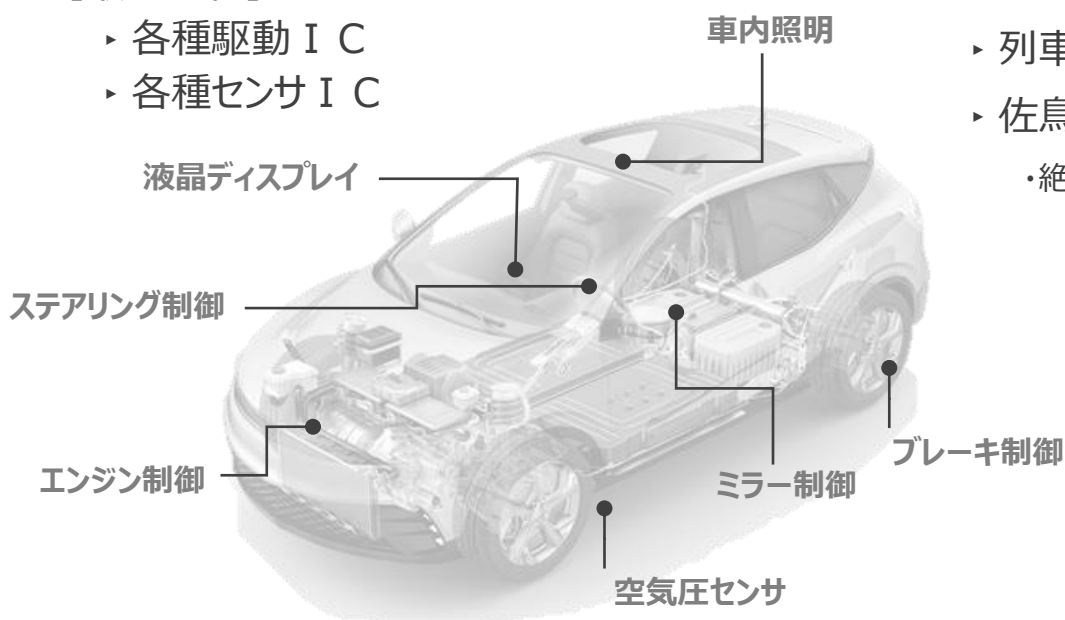
導入事例

モビリティ

C A S Eを中心とした車載用半導体の拡大

【取扱商材】

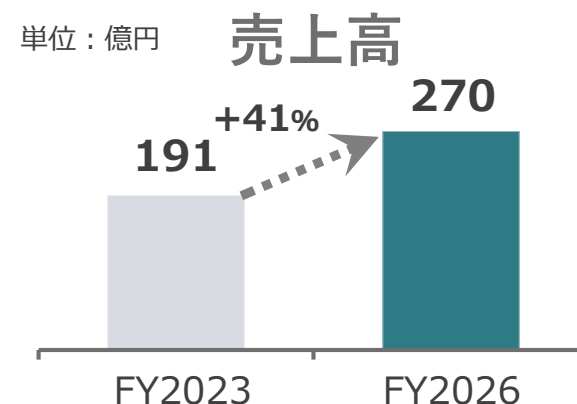
- ▶ 各種駆動 I C
- ▶ 各種センサ I C



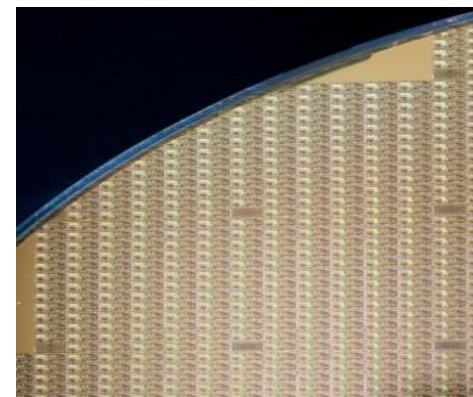
S M E T

インド市場開拓 順調に拡大中

- ▶ EV2輪車向けソリューション 4社へのデザインイン
- ▶ 列車向けソリューション 5社サンプル提出商談中
- ▶ 佐鳥電機各セグメントとの連携によるシナジー創出
 - ・絶縁監視装置Leakeleをインドへ展開



会社名	SystematIC Design B.V.
本社所在地	オランダ（デルフト）
役員	Richard Visee（CEO） Gert van der Horn（CTO）
事業内容	半導体回路設計、IP販売、ウェハー販売 （主にAnalog Mixed-Signal）
設立	1998
資本金（FY22）	872,261ユーロ
従業員数	23
主要マーケット	産業、コンシューマー、自動車
日本企業と取引> 20年	
製品販売> 5年	





Richard Visee
CEO, 創業者

- デルフト工科大学で電気工学の修士号を取得
- 20年以上日本企業と取引
- 30年以上回路設計およびシステム設計経験



Gert van der Horn
CTO, 創業者

- 技術専門家
- デルフト工科大学で工学修士号と博士号を取得
- 30年以上回路設計およびシステム設計経験



統合におけるイノベーション:

EV & 太陽光、ハプティック、生体認証、クラスDアンプ、AI、環境発電、セキュリティ等。



協力によるイノベーション:

- 鋳造、テストおよび組立、M&S
- IDM/OEM
- 補完的技術と新技術



強み

- 産業用、自動車用、スマートグリッド用電流センサ
- アプリケーション: インバータ、OCP、BMS
- BOMの削減、デバイスの小型化、新機能



顧客との長期的な信頼関係



SystematIC社

- ▶ 半導体設計技術
- ▶ 独自のアナログIP

シナジー効果による

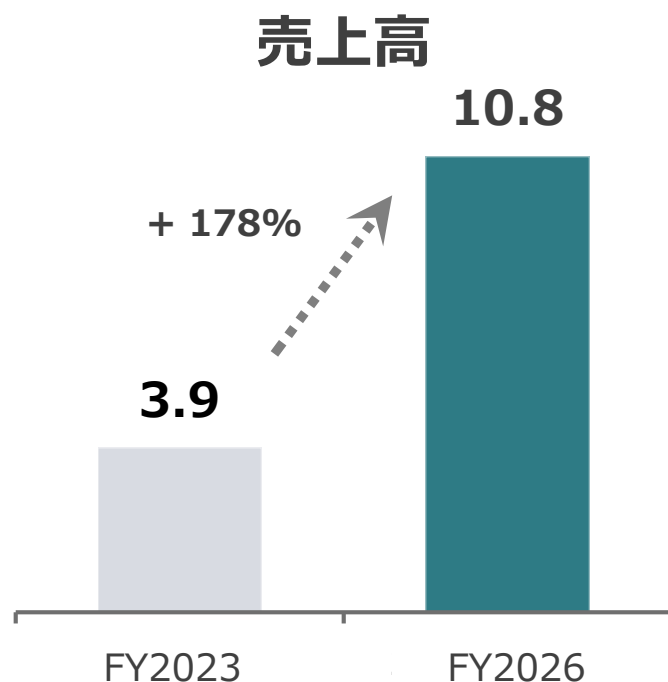


企業価値増大

佐鳥電機

- ▶ グローバルネットワーク
- ▶ 多彩な顧客基盤

単位:百万ユーロ

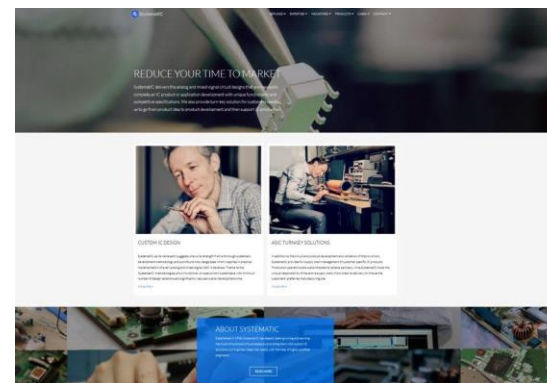
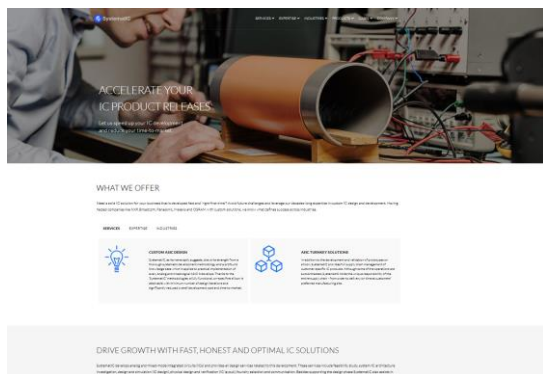


- 製品ベースの収益成長
- 佐鳥営業サポートによりアジアと北米での事業拡大
- 既存のIPロイヤルティ事業からの利益拡大に加え、IPライセンス事業へ参入
- 製品開発と製品供給を強化
- EBITDA 10%以上

*SystematICの決算期は12月になります。



Creating a New Era together !



経営の監督及び執行体制を見直し、グローバルガバナンスを強化するとともに、迅速な経営執行を強力に推進

<取締役会による監督機能の更なる強化>

- ・ 社内取締役と社外取締役の比率を1対1に

<事業執行体制の強化>

- ・ 執行役員と事業本部長をそれぞれ配置する体制から
事業本部長を原則執行役員と兼務する体制へ見直し
⇒25名 ⇨ 17名 8名減

<グローバル企業としての子会社ガバナンス強化>

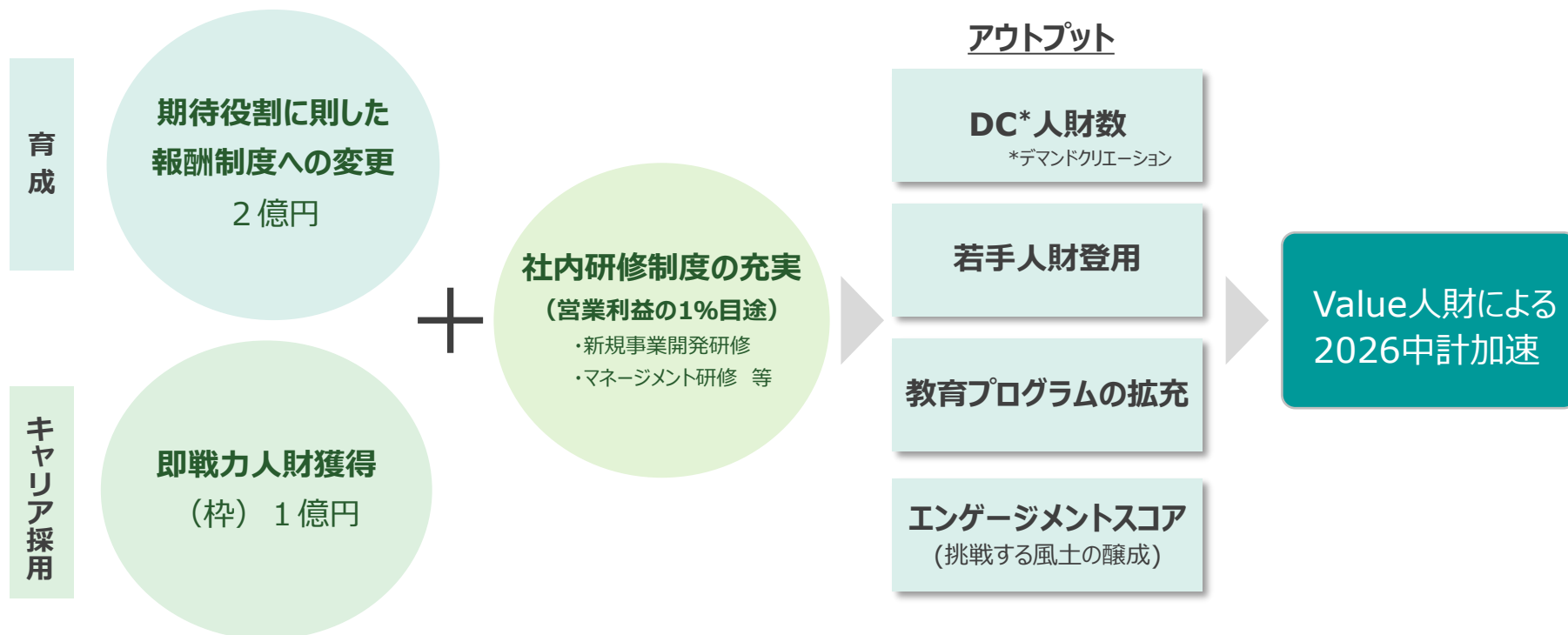
- ・ 経営品質向上に向けたIFRS導入(**FY26予定**)

<中計達成にコミットしたマネジメントチームの強化>

- ・ 業績連動型の株式報酬制度を継続適用
- ・ 雇用型執行役員向けのインセンティブ制度を追加

人財マネジメント方針

既存ビジネスの変革や新しいビジネスモデルの確立に取り組む人財の育成と輩出



このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素は以下のようなものがあります。

主要市場の経済情勢や消費動向
為替相場の大幅な変動
資本市場における相場の大幅な変動
主要製品市場における需給関係の急激な変動
技術革新、顧客ニーズの変化 等